

# Mission (存在意義)

# Vision (目指す姿)

# Value (価値観・行動指針)



## 目次

### / イントロダクション /

- 01 MVV、目次
- 03 トップメッセージ
- 07 表面改質技術による環境貢献
- 09 気候変動対談

### / V30&中計 /

- 13 Vision2030
- 15 第5次グループ中期経営計画
- 17 特集：執行役員座談会  
変革への挑戦×リージョナル経営の推進
- 23 財務戦略

### / 価値創造ストーリー /

- 25 成長の軌跡
- 27 創業以来培ってきた私たちの強み
- 29 価値創造プロセス
- 31 事業ポートフォリオ
- 33 事業セグメント別戦略  
薬品事業  
加工事業  
装置事業  
医療機器事業

### / 研究開発 /

- 41 研究開発戦略座談会

### / 人材戦略 /

- 45 人材戦略・活躍推進

### / サステナビリティ /

- 48 サステナビリティ戦略
- 49 重要課題(マテリアリティ)とその特定
- 51 気候変動への対応
- 54 環境への取り組み
- 57 コミュニティ活動/地域活動
- 59 人権尊重
- 60 労働安全衛生
- 62 サプライチェーン・マネジメント
- 63 品質保証

### / ガバナンス /

- 65 コーポレート・ガバナンス
- 69 リスクマネジメント
- 70 コンプライアンス
- 71 社外取締役対談
- 73 役員紹介

### / データ /

- 75 10年間の財務・非財務データ
- 77 会社概要・株式の状況



地球上に限りある資源の有効活用を図り、あらゆる素材の表面改質を通じて、資源の新しい価値を創造し、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献します。

私たちの身の回りにはさまざまな金属が使われていますが、これら金属は自然界では鉱石として存在しています。金属として使用するためには製錬と呼ばれる還元反応によって鉱石から金属の状態にしています。還元後の金属は分子的に不安定であるため、安定な状態に変化させる必要があります。この安定化させる技術の一つが表面改質技術です。

**編集方針** 2025年3月期の統合報告書では、当社グループの表面改質技術の社会貢献や環境貢献について、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的として制作しております。

**報告対象範囲** 日本パーカライジング株式会社および連結子会社を報告対象としています。報告対象範囲が異なる事項については、対象範囲を明記しています。

**報告対象期間** 2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)を基本としています(一部2025年4月以降の情報を含みます)。

**免責事項** 統合報告書における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内在されています。従って、さまざまな要因の変化により、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おください。

表面改質技術を通じて、新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献します。

日本パーカライジンググループは地球と人々が抱える社会課題に、「あらゆる表面をカガクで変える」をスローガンに、持続可能な社会の実現に大きく踏み出し、2050年カーボンニュートラルという目標に向かって、表面改質技術を通じて地球環境保全と豊かな社会作りに貢献することを目指しています。

技術立社を旨とし、開かれた社風のもと、公正かつ透明性の高い企業文化の醸成に励み、失敗を恐れず果敢に挑戦する精神を互いに共有し続けます。

今日、ほとんどの金属製品がその製造過程において、わたしたち当社グループの表面処理加工が施されているといっても良いかも知れません。脱炭素社会の実現に向けて、当社グループは皆さまの暮らしや経済の発展に寄与する新たな表面改質技術の開発を進めていきます。